

The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

November
ISSUE



November, 2020
Volume 107

Message from the Vice Head of Schools

【同志社創立 145 年を迎え】

11 月に入りました。11 月は私たち同志社人にとっては、特別な月になります。今から遡ること 145 年前、同志社大学の前身同志社英学校が開校された月だからです。同志社の歴史資料には次のような文で紹介されています。

1875 (明治 8) 年 11 月 29 日 / 官許「同志社英学校」を開校。上京第 22 区寺町通丸太町上ル松蔭町 18 番地高松保実邸の半分を校舎とする。教員は新島襄と J.D. デイヴィス、生徒は 8 人であった。新島襄初代社長に就任

当時は初代校長ではなく、初代社長として新島襄が紹介されているところに歴史を感じます。

例年、同志社の創立記念日には、新島が眠る若王子山頂で、多くの参加者と共に、記念祈祷会が行われるのですが、今年はコロナの影響もあり、誠に残念ですが、若王子山頂での会は取り止めとなりました。



(同志社女子大学 栄光館)

しかし祈祷会自体が無くなったわけではありません。今回は、同志社女子大学の栄光館で、各校からの参加者数 (残念ながら児童保護者の皆様には参加いただくことはできません) を事前に割り当て、密にならない対策を取ったうえで行われます。



(栄光館内部：礼拝堂)

ここで今一度同志社創立の原点を皆さんと確認したいと思います。新島は近代国家を作り出した人間に強い関心を示し、とりわけアメリカの中、高等教育機関がキリスト教人格主義教育、全人教育 (liberal education) を通して、知・徳・体の調和のとれたトータルな人間を教育し、彼らが地方や国家のリーダーとなって、アメリカの政治、経済、文化、教育をリードしていることに注目しました。また新島はアンドーヴァー神学校在学中、岩倉使節団の団員として 1 年余アメリカ、ヨーロッパ 8 カ国の教育制度の調査や視察を行い、教育に対する造詣を深めました。

そこで彼が得た結論は、『欧米文明をつくり、支えているものは、キリスト教信仰を持ち、デモクラシーを体得した独立自尊の人間であり、従ってこのような人間を日本で教育することができるならば、日本を近代化することが可能になる』という確信でした。キリスト教の人間形成が、近代国家の形成に果たす役割に大きな影響を与えると認識した新島は、1874 (明治 7) 年、宣教師として帰国し、早速キリスト教の福音を全国に宣べ伝えるとともに、日本の近代化のリーダーとなる人物の育成を旨として、1875 (明治 8) 年 11 月、京都の地に同志社英学校を設立したのでした。その同志社が、今年で 145 年を迎えます。しかし現在の日本の教育は教師主導の注入主義教育、覚え込み教育からいっこうに脱却できず、児童、生徒、学生の個性や自発性の伸長を阻害しています。児童、生徒への心の教育、超越者に対する畏敬の念、生きとし生けるものへの配慮、日本文化への理解と誇りといった面を軽視してきたことを反省しなくてはならないのかもしれないかもしれません。(注：学校法人同志社 HP 同志社の歩みから転載編集)

このように同志社の原点を振り返る中で、児童の個性や自発性を尊重し、全人教育を通して広い視野をもって行動できる人間、自らの良心に従って生きる人間の育成の重要性を再確認した上で、本校のバイリンガル教育と IB 教育を推進せねばと強く感じます。今後とも、家庭と学校が両輪となった教育を推し進めるべく、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

副校長 城 恵市



キリスト教 教育テーマ 11月：感謝 November: Gratitude

「それから、私は天が開かれているのを見た。すると、白い馬が現れた。それに乗っている方は、『忠実』及び『真実』と呼ばれ、正義を持って裁き、また戦われる。」

ヨハネの黙示録 19章 11節（聖書協会共同訳）

「眠り姫」はヨーロッパに古くから伝わる昔話で、フランスのペロー童話にも、ドイツのグリム童話にも登場します。ディズニー映画は昔話を元にしたオリジナルなストーリーが多いことで知られていますが、私は最近、久しぶりにディズニー映画の「眠れる森の美女」を観ていて、ある面白いことに気が付きました。

このお姫様は生まれた時から魔女の呪いを受けていて、16歳の誕生日が来るまでに糸車の針に指を刺され、死んだように眠ってしまう運命でした。父である王は何とか娘のこの恐ろしい運命を回避させようと国中の糸車を集めて燃やしてしましますが、所詮魔女の力の前には何の効力もなく、予言通り糸車の針に指を刺されたお姫様はすぐに床に倒れ、死んだように眠り続けました。そこへお姫様を救い出そうとやって来たのが、白い馬にまたがった王子様です。映画の最後の方の場面で、今や本性をむき出しに竜の姿になった魔女と闘うため、王子様は妖精から不思議な剣と盾をもらいます。その名は「美德の盾」、「真実の剣」というのです。王子様が火を噴く竜と闘っている場面は、圧巻です。邪悪な魔法にかかり、お城の塔の中で眠らされているお姫様を起こすために王子様が向かって行こうとすると、そうはさせまいと竜が王子様の前に立ちはだかつて、邪魔をするのです。しかし最後は正義の武器を身に付けた王子様が勝ち、お姫様は目を覚まします。二人は素敵なお城に住んで、いつまでも幸せに暮らすのです。

さて、今のこのお話の中に、聖書に登場するシンボルが幾つもあることをご存じでしょうか。

まずは、白い馬にまたがった王子様です。「白馬の騎士」とも、言います。「白馬の騎士」は、ヨーロッパでは人々のピンチにどこからともなく駆けつける、英雄を表すシンボルになっています。けれども、もともと「白馬の騎士」が登場するのは新約聖書の「ヨハネの黙示録」で、イエス・キリストを表しているのです。ディズニー映画に宗教色はありませんが、もし眠れる森の美女の王子様がキリストだと仮定すると、物語全体は聖書の言葉に照らし合わせて、このように見ることができます。

・「蛇は女に言った。『いや、決して死ぬことはない。それを食べると目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っているのだ。』」
創世記 3章 4-5節

（糸車は食べ物ではありませんが、自分に不幸をもたらす物とも知らずに、誘惑に負けて触ってしまう人間を表していると言えます。）

・「眠っている者よ、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」
エフェソの信徒への手紙 5章 14節

（神に背いた人間の心は、何も知らずに眠り続けている人と同じです。救い主に起こしていただかなくてはなりません。）

・「それから、私は天が開かれているのを見た。すると、白い馬が現れた。それに乗っている方は、『忠実』及び『真実』と呼ばれ、正義を持って裁き、また戦われる。」
ヨハネの黙示録 19章 11節

（罪の牢獄に閉じ込められた人間を救ってくださる方は、イエス・キリストです。）

・「…信仰の盾を手に取りなさい。それによって、悪しき者の放つ燃える矢をすべて消すことができます。また、救いの兜をかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。」
エフェソの信徒への手紙 6章 16-17節

（キリストが持ったのと同じ正義の武器を、我々もまた持つようにと勧められます。）

・「命あるかぎり 恵みと慈しみが私を追う。私は主の家に住もう 日の続くかぎり。」
詩編 23編 5節
（人間の魂が罪から解放され、いつもキリストと共にある喜びを歌っています。）

自分一人で大きな「竜」と戦うのは怖く無理であっても、イエス・キリストご自身が命がけで悪と戦い、私達を救い出してくださることを信じられるならば、何も怖いことはないはずです。神さまがどんな時でも私達に勇気をお与えくださり、私達が悪い誘惑を退けて、たとえ失敗してしまった時でも希望を失わず、キリストの救いを信じて起き上がることができますように。

Christian Education Committee チャブレン 石川眞弓

※先月行った礼拝メッセージに加筆・修正したものです。

<お知らせ>

- ・11月のおにぎり献金は、11月10日（火）です。
※感染症予防のため、献金は袋に入れてお子様にお持たせください。ご協力をよろしくお願い致します。
- ・11月6日（金）は、神さまに収穫を感謝する礼拝です。お子様に米一合を、お持たせください（生活困窮者の施設へ寄付します）。
- ・11月20日（金）は、点灯式礼拝です。朝礼拝（児童のみ）で行い、点灯の儀式は各自自宅にて、ロイロノートで見届けます。

気温とウイルスの活動の関連について

11月に入り、朝の気温が10度を下回り、各ご家庭でも暖房器具が活躍し始める時期となりました。新型コロナウイルスの感染拡大について、気温とウイルスの活動との関連についての報道も耳にするようになりました。一般的には、気温が低くなり、乾燥がすすむとウイルスの活動が活発化します。新型コロナウイルスについてもこの傾向は同じであろうとされています。また世の中では、コロナの予防と経済活動（社会活動）を両立すべき道を模索し、「with Corona」という言葉もよく耳にするようになりました。しかし、その一方で、風邪とインフルエンザ、そして新型コロナウイルスに感染した際の症状はとてよく似ており、その判断の難しさが懸念されています。新型コロナウイルスは我々の周辺に着実に近づいてきており、だれがいつ感染し、発症するかは、いくら感染予防に努めていたとしても全く予想できないのが、今の状況だと言えます。DIAとしても、様々な状況を想定し、今後に備えて参ります。ご家庭におかれましても引き続き感染予防に努めていただき、毎朝の検温と健康チェックをお願いいたします。また、関係者が感染、あるいは濃厚接触者となった場合は、早急に学校までご連絡をお願いいたします。

点灯式、クリスマス礼拝について

さて、秋学期後半（11月、12月）の行事につきまして、実施の方向性が決まりましたのでお伝えいたします。

まず、クリスマスツリーの点灯式ですが、11月20日（金）に朝の礼拝を点灯式礼拝として、いつもより時間を延長して実施いたします。そして、その日の夕刻に各担任が「点灯の儀式」の動画をロイロノートで配信いたしますので、ご自宅で、点灯の様子をご覧くださいますようお願いいたします。

次に3年生が主体となって行っている、ページェントですが、11月24日（火）に場面ごとの撮影をして、12月4日（金）のクリスマス礼拝において、その映像を教室に於いて全員で観ることといたします。ページェントを演じる3年生には、その動画をDVDにまとめ、お渡しいたします。

今年度は、みんなが一堂に会して礼拝の時を持つことができませんが、映像を通して、喜びの時間を共有できればと願っております。



11月の主な行事・予定

1	日	
2	月	Unit4 (w4) Open classG6,G1-1
3	火	
4	水	PYP 会議 (午前授業)
5	木	Open classG1-2 避難訓練
6	金	Open classG3 収穫感謝祭
7	土	
8	日	
9	月	Unit4 (w5) G6 国際中入試 いじめアンケート (~11日) Open classG5,G2-2
10	火	Open classG4,G2-1
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	Buffer week ピアソンテスト (~19日)
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	点灯式
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	Unit5 (w1)
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	G6 同女中 香里中入試
29	日	創立記念日 (若王子での祈祷会は中止)
30	月	Unit5 (w2)



【12月のSPTカンファレンスについて】

*11月には、Open classを実施し、保護者の方々にも校内に入っただき、オンラインではありますが、授業の様子をご覧くださいますが、12月10日からはSPTカンファレンス（児童、保護者、教員の3者懇談）が開催されます。実施につきましては、10月15日にアップいたしましたお知らせを（動画の説明もあります）をご確認ください。